

# かんのうじ 感応寺

所在地：南あわじ市 倭文土井



感応寺本殿 出典：一般社団法人淡路島観光協会 HP

感応寺は、感応寺山の頂上にある名刹で、別名を松尾山感応寺ともいいます。高山参りの名所として古くから親しまれています。

奈良時代の天平年間に、名僧行基が当地に伽藍を建て、自ら刻んだ観音像を安置したのがはじまりと伝えられています。元中5年(1338)の大火により、感応寺の伽藍は全焼しましたが、観音像は雲に乗って三原川の浜辺に逃れ、無事であったという伝説があります。観音像が発見された旧西淡町松帆には、松帆感応寺が建立されています。

旧緑町一体を望むことができる感応寺山頂へは、県立淡路ふれあい公園から登山道が続いており、気軽にハイキングを楽しみながらいくことができます。

## 【景観の特徴】

- 自然がつくりだす景観
- ✓ 歴史がつくりだす景観
- 生活・文化がつくりだす景観
- 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車洲本ICから国道28号を南下、広田交差点を右折、車で30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図